

研 究 テ ー マ	IT 活用を視野に入れた訪問看護の質の維持・向上に有効な看護記録システムの開発に関する研究
研 究 目 的	訪問看護の質の向上のために有効な訪問看護記録・システムの開発に向けての基礎資料とするため訪問看護記録およびIT化の現状を把握すること
研 究 方 法	①文献検討、②事例検討、③訪問看護記録およびIT化に関する実態調査、を行った
結 果 及 び 考 察	<p>調査の結果、①記録様式は6割が独自に開発したフォーマットを使っている②訪問看護指示書は、約7割が「訪問看護の手引き」で示された様式を使っているが、指示書の受け取り方や指示内容については検討の余地がある③看護記録のための用語が統一されていない④看護記録が訪問看護の質を向上させるために有効である⑤IT化のための準備が整備されていないなどが明らかになった</p> <p>以上の結果から今後の課題として、①効率的、効果的な訪問看護記録様式の開発が必要である②訪問看護の標準化を図り用語を統一する必要がある③IT化に向けたスタッフ教育、パソコン配置のための経済的支援が必要である、が示唆された</p>
研 究 助 成 金 名	平成14年度 厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業